

泉中校区 小中一貫教育だより

期号 平成 28 年 3 月 泉中学校・泉小学校・中村町小学校 発行

今年度小中一貫教育の取組 成果と課題

めざす子ども像

1. 「学びの基本」の定着のもと、学び合い、学びを深める子
2. 読書や交流・体験活動を通して、豊かな人間性や社会性を身につけた子

教育課程づくり

泉中スタンダードの質的レベルアップ

泉中校区小中一貫教育全体研

【成果】

学校評価の結果報告や小中一貫教育フォーラムの報告を泉中校区の3校全体で2回開催しました。その会では、各校の課題や今後に向けた取組の交流を行い、泉中校区3校がともに連絡を取り合い、足並みを揃えて取組をすすめていくことを確認することができました。

学校評価の結果からは、仲間とのかかわりを大切に、学び深めていこうとする児童・生徒の思いの高まりを見出すことができました。

【課題】

小中のつながりを意識した教育課程の作成を行いました。しかしながら、まだまだ十分に活用されているとはいえない状況です。

また、スクール・フォーラムや小中一貫だより、ホームページなどを通して保護者の皆様への情報発信を行ってきました。取組へのご理解をいただいておりますが、さらに小中一貫教育へのご理解をいただくべく、取組の見直しが必要です。

【来年度に向けて】

来年度は、泉中校区の教育資源を生かした小中9年間の「生活科」「総合的な学習の時間」を中心に、教育課程づくりに努めていきます。

9年間の学びをつなげていけるよう教育課程における小中のつながりを一層意識した授業づくりに努めると同時に、常に見直しを図りつつ、泉中スタンダードの質的レベルアップに注力していきます。

授業づくり

授業改善10のポイントに基づく授業研究

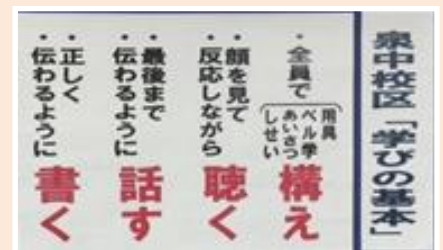
相互授業参観・「学びの基本」

【成果】

小学校と中学校が相互に授業を参観しました。校区全体で学び合いの場をもつために、時間の確保や手立ての工夫をすることができました。

そうした結果、3校の児童・生徒とも「学び合い」に関する意識の高まりが見られるようになりました。学び合いのよさの実感、学習への意欲が向上するなどの成果が見られました。

また、校区における統一した指導をさらにすすめるために「学びの基本」の見直しを行い、取り組みをすすめました。



【課題】

「学び合い」の質について、さらに3校で協議をすすめていく必要があります。各学年における「学び合い」をどう位置づけ、9年間を通してどのような「学び合い」を育てていくのかについて、継続した取組を修正を重ねながら進めていかなければなりません。

【来年度に向けて】

9年間の「学び合い」をどう育てていくかについて、来年度は今年度以上に充実した授業相互参観を行います。授業における児童・生徒の姿をもとに「学び合い」のよさを実感する、学習への意欲を高める指導方法のあり方を全教職員で学び、実践に生かすよう努めていきます。

人間関係づくり

充実した交流・体験活動の創造

金沢「絆」活動・iPS サミット

【成果】

3校の児童・生徒がともに、挨拶運動、清掃活動、ペットボトルキャップ集めを行い、「絆」を深める取組をすすめました。

iPS サミットでの話し合いをもとに行った挨拶運動やペットボトルキャップの回収では、大きな成果を上げることができました。挨拶をする気持ちよさを再確認したり、目標の22万個を上回るペットボトルキャップの回収をやり遂げたりすることができました。

また、7月28日の金沢「絆」の日では、児童・生徒が互いに助け合いながら、出身中学校の清掃活動を行いました。中学生の取組の姿勢や心配りを見て、感謝の気持ちとあこがれの思いをもつことができました。



【課題】

今年度は、iPS サミットを中心に交流の場づくりを行ってきました。今後はさらに児童生徒会活動の充実に向けて、新しい交流の場を模索していく必要があります。

また、金沢「絆」の日の取組はここ2年間、出身校の清掃活動としてきましたが、保護者の皆様や地域の皆様と十分な交流ができなかった現状があります。地域の一員として、地域に息づいた取組を模索していく必要があります。

【来年度に向けて】

よりつながりが生まれるよう取組を見つめ直し、改善を図ります。図工・美術作品の交流など新しい視点での交流を模索していきます。

また、地域の皆様とのつながりも育てていくため、金沢「絆」の日の取組やお知らせを工夫し、児童・生徒が地域の一員としての思いを育ていけるよう努めていきます。

組織づくり

実効性・継続性のある研修会・部会の実施

3校の職員によるグループ討議

・小中一貫ニュース

【成果】

泉中校区小中一貫教育全体会において、3校の教職員が顔を合わせ、各校の課題や今後に向けた取組の交流を行うことができました。

また、小中一貫教育を進めていくにあたって、7部会（教育課程部、研究部、生徒指導部、特別活動部、養護教諭部、図書館部、英語部）を立ち上げ、年間5回の話し合いの場を設け、取組みをすすめることができました。

3校職員向けに小中一貫ニュースを発行し7部会での取組の共通理解を図ってきました。

【課題】

小中一貫教育をすすめるにあたり、今後は小中のつながりだけに留まらず、小小（泉小・中村町小）とのつながりをつくっていく必要があります。これまでの実践の中から見出された課題に対応する組織のあり方を模索しなければなりません。

【来年度に向けて】

今後、「生活科」「総合的な学習の時間」を中心にした教育課程づくりに取り組むにあたり、組織の再編を行っていく必要があります。

